

稚内市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

自家用車の普及や少子化による通学者の減少等により、バス利用者も年々減少しており、郊外路線に対する市の費用負担も増加傾向にある。
このため、「稚内市地域公共交通網形成計画」を策定し、まちづくりと一体となった持続可能な交通ネットワークの構築に向け取組みを進めているところである。
「天北地区、恵北・増幌地区」において、地域間幹線系統と接続した予約型乗合タクシーを運行し、地域住民の生活交通を確保するとともに、持続可能な交通ネットワークの構築に努める。

生活交通確保維持改善計画の目標

【目標(利用者・収支率の増加を目指す)】

- 天北地区、恵北・増幌地区
 - ・利用者平均416人/月(H31年～R1年9月利用者数平均379人/月より10%向上)
 - ・収支率10%以上(H30年10月～R1年9月の収支率5.01%)

令和2年度事業概要

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー(令和2年4月再編)

・天北地区、恵北・増幌地区各戸から稚内駅前ターミナル

令和2年3月まで【市街地方面行き:3便 天北方面行き:4便 路線バス接続便3便】

令和2年4月から【市街地方面行き:5便 天北方面行き:4便】

利用料金	潮見5まで 《区間1》	南駅前まで 《区間2》	稚内駅前Tまで 《区間3》
【区域1】恵北・増幌	200円	300円	400円
【区域2】樺岡・上声間	400円	500円	600円
【区域3】沼川・川西・曙・川南・開進・豊別・天興・曲淵	500円	600円	700円

※天北地区、恵北・増幌地区内は、区域1あたり100円

地域公共交通の現況

- 稚内空港(羽田便・新千歳便)
- JR宗谷本線(稚内駅、南稚内駅、抜海駅、勇知駅)
- 宗谷バス(株)(市内路線:9路線、天北宗谷岬線:3路線、都市間バス1路線等)
- ハートランドフェリー(株)(利尻・礼文航路)
- タクシー事業者2社(稚内日の丸交通・北都ハイヤー)
- スクールバス(7地域)

協議会開催状況(主な協議内容)

- 令和元年度第2回協議会(書面会議)R2年1月9日開催
 - ・天北地区、恵北・増幌地区における交通体系の再編
- 令和元年度第3回協議会(書面会議)R2年3月23日開催
 - ・令和2年度地域内フィーダー系統確保維持計画変更申請
- 令和2年度第1回協議会 R2年7月14日開催
 - ・令和3年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)
- 令和2年度第2回協議会(書面会議)R2年12月●日開催
 - ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)

令和2年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

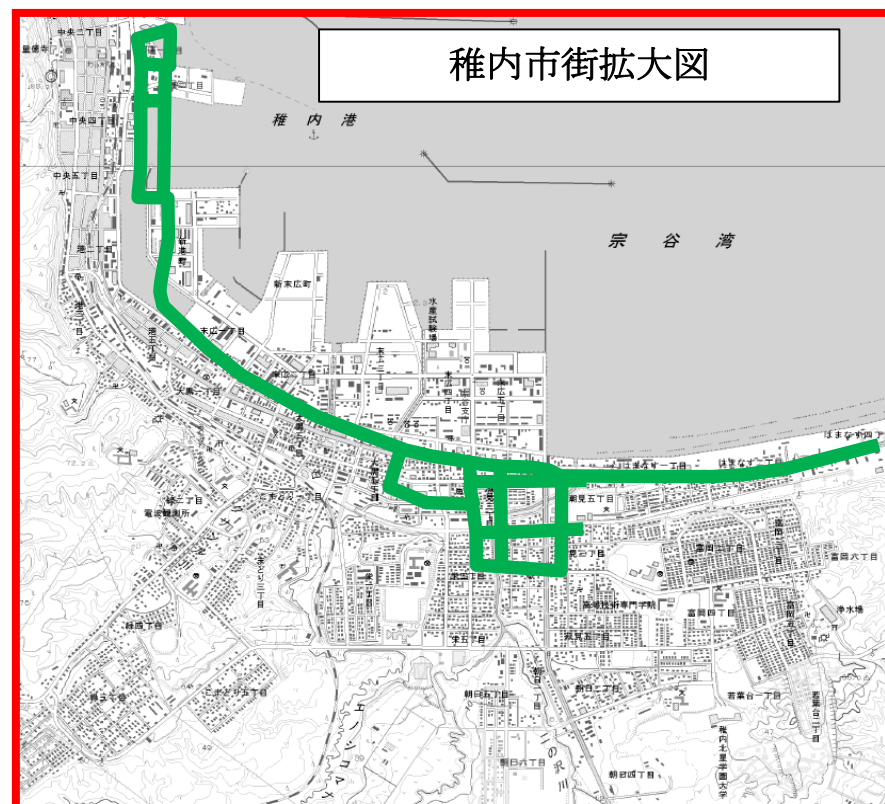
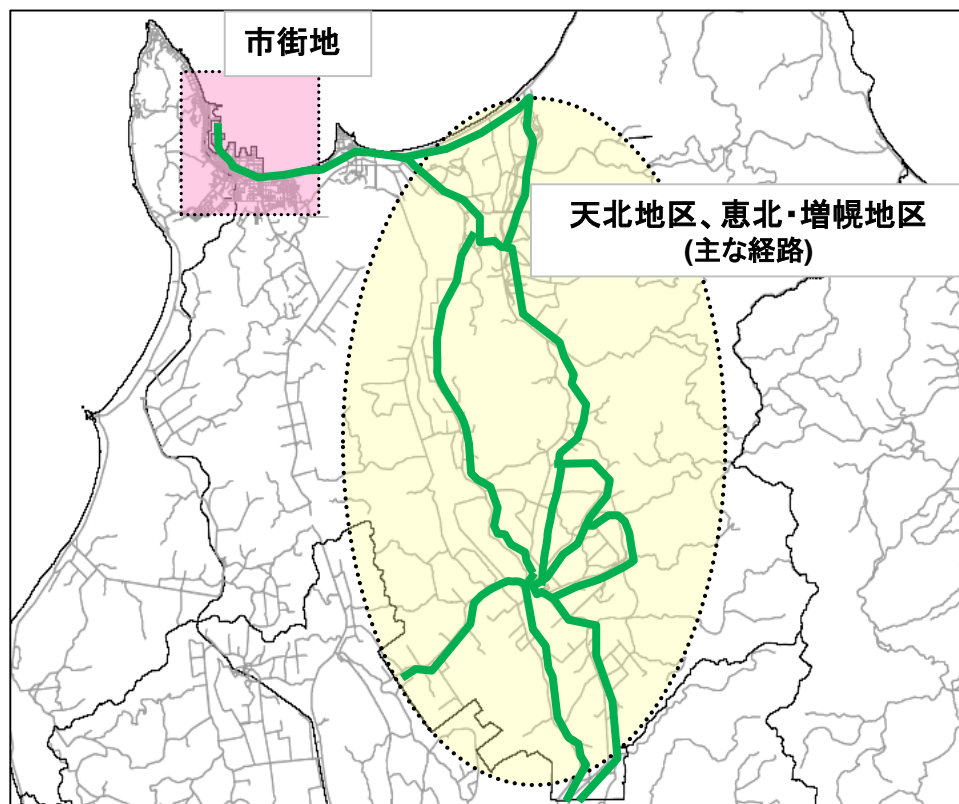
【プロセス】

・旧天北線バスの経路変更をはじめとする郊外バス路線の再編に伴い、代替交通としてH23年10月から本格運行となる。

【創意工夫】

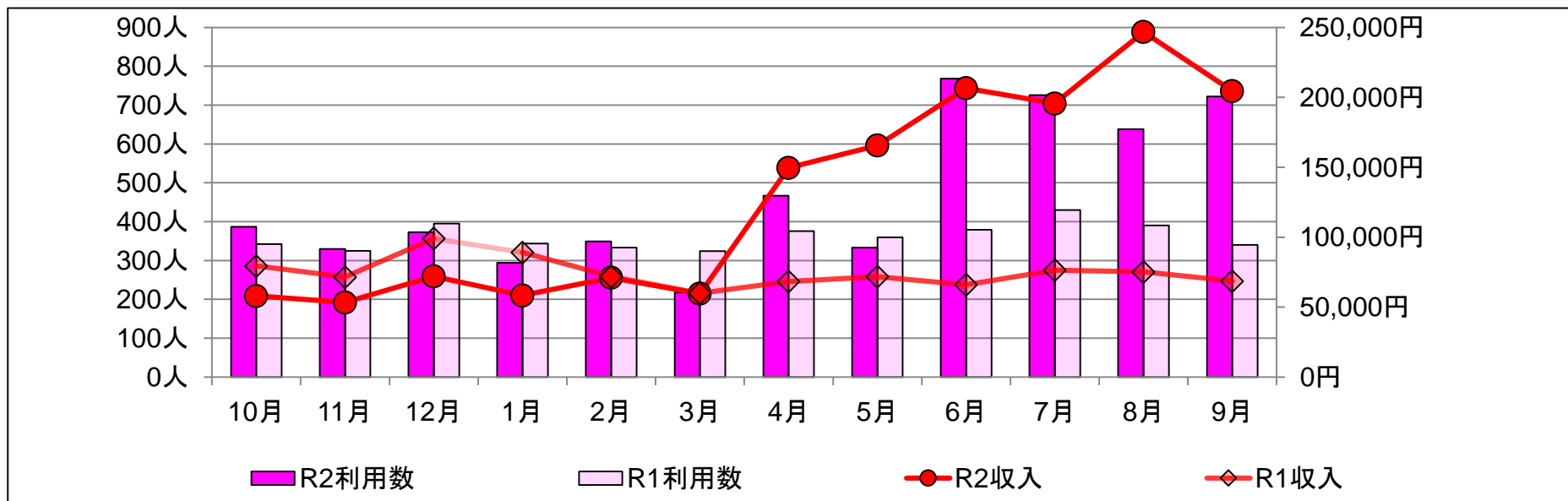
- ・地域及び利用者の移動ニーズに配慮し、効率的な交通体系の再構築を向けて、地域及び関係者と協議を進めてきた。
- ・持続可能な交通ネットワークを確保することを目指し、路線バスの廃止を行うとともに、令和2年4月に「天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー」の再編を行い、より効率的な交通サービスの提供に努めている。

2) 運行系統



3) 天北地区、恵北・増幌地区の利用状況の推移

4) 収入実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
R2 利用数	387	330	373	294	349	218	467	333	768	726	638	722	5,605
R1 利用数	342	325	395	344	333	324	376	360	379	430	390	340	4,338
R2 収入	58,000	53,400	72,000	58,400	71,110	59,700	149,630	165,590	206,570	195,630	246,810	204,530	1,541,370
R1 収入	79,500	71,520	99,100	89,120	71,970	60,050	68,370	71,850	66,020	76,520	75,210	68,600	897,830

5) 事業実施の適切性

- 天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー
- ・計画通り事業は適切に実施された。

7) 事業の今後の改善点

- 天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー
- ・再編後の利用者の実態を把握するとともに、地域及び関係者と協働し、持続可能な交通体系の維持・確保に努める。

6) 目標・効果達成状況

- 天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー
- ・目標の平均416人/月に対して平均467人/月 となった。
- ・収支率10%以上に対して収支率7.0%となった。
- ・通学・通院・通勤で利用する方が多数を占めており、地域住民の生活を支える交通インフラの役割を果たしている。

8) 地方運輸局における二次評価結果

運輸局記載欄

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月19日

協議会名: 稚内市地域公共交通活性化協議会
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
稚内市	天北地区、恵北・増幌地区(天北地区、恵北・増幌地区各戸から稚内駅前ターミナル)	乗合タクシーの利用実態及び地域における移動ニーズの把握を行い、持続可能な交通ネットワークの構築を目指し、運行路線の再編(利便性向上・バス路線代替)を行った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B ・目標利用者の平均416人/月に対して平均467人/月となり、目標値を上回った。 ・収支率10.0%以上に対して収支率7.0%という結果となり、目標値を下回った。 ・通学・通院・通勤で利用する方が多数を占めており、地域住民の生活を支える交通インフラの役割を果たしている。	・新規利用者の発掘を行いながら、地域及び利用者の移動ニーズに配慮し、持続可能な交通サービスの維持・確保に向けて、地域及び関係者と協働で取組を進めていく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年1月19日

協議会名:	稚内市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>稚内市では車社会の進展や少子化による通学需要の低下などを要因とし、バスをはじめとする公共交通の利用者は年々減少を続けていることから、平成31年3月に「稚内市地域公共交通網形成計画」を策定し、まちづくりと一体となった持続可能な交通ネットワークの構築に向け取組みを進めているところである。</p> <p>「天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー」は、路線バスの代替え輸送手段として通院や通学、更に高齢者の買い物利用など生活に欠かせない地域の足として定着している。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業を活用し、「天北地区、恵北・増幌地区」において地域間幹線との接続として乗合タクシーを運行し、利用者数の増加と共に、収支率の改善などを図り、今後も地域住民の足を確保していくことを目的とする。</p>